

活動報告

(2024年9月～11月)

- 9月 2日 県議会・防災・脱炭素社会づくり特別委員会
- 9月 7日 小出裕章氏「原発はいらない!」講演会
- 9月 9日 「労災病院の機能存続を求める署名」を
県に提出
- 9月15日 NPOかみえち山里ファン倶楽部
棚田学校(稲刈り)
- 9月15日 上越地域の医療を守る会の
署名提出報告会
- 9月21日 パネルディスカッション
「考えよう!上越の医療体制」
- 9月24日～10月15日 県議会9月定例会
- 9月28日 県立吉川特別支援学校ドリームフェスタ
(文化祭)
- 9月29日 なくそて原発2024柏崎大集会
- 10月 5日 上越高等学校120周年記念祝賀会
- 10月12日 上越市民スポーツ祭市民卓球大会
- 10月12日 高田世界館で野外上映会
- 10月13日 NPOかみえち山里ファン倶楽部
棚田学校(脱穀)
- 10月19日 上越教育大学「いじめ・生徒指導
研究センター」設置記念フォーラム
- 10月19日・20日 越後・謙信SAKEまつり
- 10月21日 道路並びに河川関係期成同盟会
合同要望会(三和区)
- 10月23日 一般国道405号改良整備促進協議会総会
(十日町市)
- 10月25日 高田高等学校創立150周年記念美術展
- 10月26日 県知事杯争奪尾神岳スカイランプリ
(吉川区)
- 10月26日 高士小学校学習発表会
- 10月26日 高田高等学校創立150周年記念祝賀会
- 10月27日 「フェスタ牧っていいね
イタヤカエテの山里づくり」(牧区)
- 10月29日・30日 県議会決算特別委員会
- 11月 2日 県民投票で決める会「受任者の集い」
- 11月 8日 「平和のための全国弁護士会アクションの日」
で街頭宣伝
- 11月11日 一般国道253号改良促進期成同盟会総会・
要望会(十日町市)
- 11月15日 高田本町よるまるしえ
- 11月15日 マミーズ・ネット20周年記念式典
- 11月16日 糸魚川市日本共産党後援会
「秋の交流会」参加
- 11月19日 令和6年度 第2回上越地域振興行政懇談会
- 11月20日 上越ケーブルビジョン株式会社
創立40周年記念祝賀会
- 11月21日 県議会・防災・脱炭素社会づくり特別委員会
- 11月23日 ミニ県政報告会「おしゃべり会in大潟」開催
(大潟区)
- 11月24日 高田世界館で第4回 上越★農業映画祭
- 11月25日 県議会決算特別委員会
- 11月30日 上越地区労連第33回定期総会



新潟県議会議員・無所属

馬場ひでゆき

活動報告

vol.6
2024.冬号



ご挨拶

皆様は、今年はどうな一年だったでしょうか。私の一年は今年も怒涛の如く過ぎました。1月は能登半島地震への対応、2月は初めての一般質問で登壇、春は上越市議会議員選挙の応援、夏は労災病院存続の要請活動、秋からは原発再稼働の是非を問う県民投票条例制定を求める直接請求の署名集めに奔走しています。この間4回目の議会が開催され、議会開会中は新潟通いの毎日でした。

政治の仕事には終わりがありません。知れば知るほど次々と新たな課題が生まれてきます。終わりのない課題にじっくり向き合い、どのように道筋をつけていくべきなのかを皆様と話し合いながら前進していくつもりです。来年もどうぞよろしく願いいたします。

今年の冬は雪が多いとの予報が出ています。どうか皆様お気をつけてお過ごしください。

お知らせコーナー

馬場の話を聞きたい方へ

現在各地で県政報告会を実施しております。少人数でもご要望があれば伺いますので、ご希望の方は事務所までご連絡ください。



「公式LINE」ご登録お願い

馬場ひでゆき公式ホームページを公開しています。また公式LINEも始めました。ぜひご登録をお願いいたします。



公式LINEはこちら

ホームページ



～略歴～

1964年旧高士村(現上越市)に生まれ、現在60歳
高士小学校、高士中学校、高田高校、東京大学法学部卒業
宇都宮健児弁護士に師事
1998年に弁護士登録し、新潟市内で弁護士活動開始
2003年に上越市本町3丁目に弁護士事務所を開設
2008年に友人らと共に高田日活(現高田世界館)の維持保存に奔走
2016年市民連合・上越の共同代表として、市民と野党の共同の先頭に立つ
*趣味は山歩き、TVドラマ鑑賞
*現在、子ども3人(2女1男)は独立し、妻と母と共に暮らす

発行:
馬場ひでゆき事務所

新潟県上越市本町3丁目3-3
ダイアパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
FAX 025-546-7666
<https://babahideyuki.jp/>
営業時間 月～金曜 10:00～17:00

webはこちら

切実な要求を県政に繋ぐ！

～馬場ひでゆきの議会活動～

今回は、9月議会(※)と決算委員会で取り上げた3つのテーマについて報告します。

※私は、この9月議会から、産業経済委員会に属することになりました。

この委員会では、商工業、農林水産業など産業全般を扱います。



過疎化・高齢化が深刻

中山間地農業を守れ！

中山間地の将来的な計画は？

馬場 中山間地域では耕作放棄防止のためにそばやよもぎを栽培していると聞いている。その成果と展望は？

地域農政推進課長 そばは、生産面では粗放的な管理が可能で水稲と作業が競合しない、追加の機械設備がいらぬ、販売面でも県内には多くの蕎麦屋がある。

よもぎは、一度植えると2年目からは特別な管理なく安定した収穫が可能、鳥獣被害にも遭いにくい。お灸、健康食品、染料などに活用されている。

そば、よもぎは、地理的条件が不利な中山間地でも収益の確保が期待できる。**地域の活性化の観点も含め、地域の実情に応じた作物の振興を支援**していきたい。

馬場 中山間地等直接支払制度が今年度第5期の最終年になり、次年度から新規の協定を締結することになる。しかし、地域によっては将来的な計画が立たないという話も聞く。次期に向けての県の対応は？

地域農政推進課長 過疎化、高齢化の進行に歯止めがかからず、営農継続集落機能の維持が難しい地域が存在している。

県としては近隣集落の連携、省力的な農地の維持管理などを働きかけながら、新たな人材の確保や外部支援組織との連携などの取組について引き続き支援をしていく。

中山間地で農業を営むことは、国土の保全に繋がります。しかし、「中山間地農業は市場原理になじまない」私がお話をお聞きした農家さんの言葉です。中山間地での産業を振興し、その生活と経営とを支援していくことは、国や自治体の大切な責務と考えます。この立場で今後も農家の皆さんの支援をしていきます。



関西圏からの誘客を

北陸新幹線敦賀延伸、佐渡金山世界遺産の効果は？

関西方面からの観光客数が伸び悩み

今年3月に、北陸新幹線が敦賀まで延伸した。関西方面からの観光客増加を期待したが、意外にも旅行客数が伸び悩んでいる。

関西の客は、延伸前は、金沢まで特急サンダーバードに乗り、金沢で新幹線はくたかに乗り換えて糸魚川駅、上越妙高駅に下りていた。ところが、延伸後は敦賀で新幹線つるぎに乗る。つるぎだと金沢、富山が終点で、糸魚川、上越妙高に行くにはまたそこで乗り換える。乗り換えが二度になり、旅行客には負担感がある。それから料金の問題があり、新幹線の距離が伸びた分、それだけ料金も割高になる。そこで、次の質問をした。

馬場 北陸新幹線が敦賀に延伸した。しかし、観光客増に繋がっていない。県の現状認識についてお聞きしたい。

観光企画課長 糸魚川駅、上越妙高駅は関西からの玄関口だ。関西圏からの誘客に向けて、JR西日本と連携した情報発信や、関西圏の旅行会社に対する旅行商品の造成支援などに取組んでいる。来年は大阪・関西万博も開催される。本県の誇る様々な魅力を発信していきたい。



馬場ひでゆき 6つの約束

- 1 みんなの声を政治に活かす
- 2 一人親・子育て世帯の支援
- 3 病院・医療・介護の充実
- 4 街をつくるムラを守る
- 5 原発再稼働に反対を貫きます
- 6 大軍拡・増税ストップ



自治体の財政負担は

県立病院の今後の運営は？

県立病院の運営資金の繰入金増額？

馬場 令和5年度の病院事業決算で、県立病院の運営資金が来年枯渇するかもしれないとのことだが、同会計は、県の一般会計から毎年繰り入れがされている。問題ないのではないか？

経営企画課長 一般会計から繰り入れが許されるのは、地方公営企業法に基づいて救急医療やへき地医療にかかる経費など、その経営に伴う収入のみで経費を賄うことが困難な場合のみである。だから、繰入金を無制限に増やせるということではない。

馬場 しかし、例えば山間地の病院の場合、経営の合理化をしても限界があるのでは。一般会計からの繰入金の額を増やすとか、その病院の立地自治体で地元の住民が同病院を利用している場合には、その自治体と財政負担を協議する余地があるのではないか。

経営企画課長 一般会計からの繰入金は、昨年度は164億円、10年前が117億円で増加傾向だ。令和6年度予算で病院事業への支出額が県の裁量幅の大きい673億円のうち3割近くを占めていて、これ以上の増額は非常に厳しい。

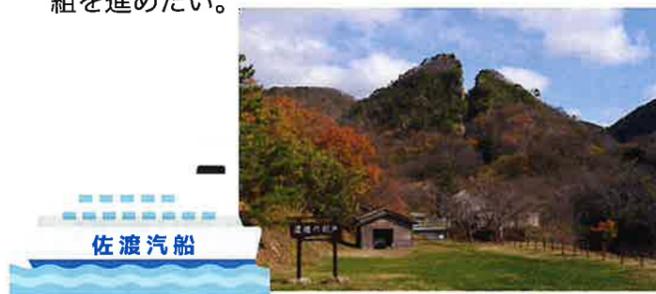
財政負担は、お願いするにしても相手自治体に納得していただく必要がある。現在、**地域、規模の適正化を含めて地域医療構想調整会議などで検討**をしている。運営や財政負担の在り方も今後検討の俎上にあがるものと考えている。



北陸新幹線～佐渡への利便性は？

馬場 県は、佐渡島が世界遺産になったことで補正予算を組み、佐渡の通年観光を促進するとともに県内全体への誘客を図ることを目的に旅行プランを企画した。しかし、北陸新幹線の便が悪くなると、新幹線を利用して直江津から佐渡に向かうコースは難しいのではないか。

観光企画課長 旅行会社によれば、**関西圏の方は、上越を利用して小木直江津航路を利用する方が非常に多い**と聞く。関西圏の旅行会社をお願いしているモニターツアーも、佐渡を絡めた周遊ツアーが非常に人気と聞いている。引き続き取組を進めたい。



佐渡金山も新幹線も、すぐに観光客増に結びつかないようです。上越市の通年観光施策もうまくいくとは思えません。私は、観光政策よりも、まずは住民が自分の街を楽しんで周遊できる街づくりを行政が目指すべきだと考えます。



最近、高田の街中にも個性的なお店ができてきました。このような小さいけど楽しそうなお店がたくさんできると、街が活気づき、外からもなんだかおもしろそうな町だなあと思って訪れてくれるはず。私がかつて住んでいた東京谷中・根津・千駄木もそんなところでした。地道な街づくりが大事なんだと思います。

